

## 令和3年度4月教育委員会 会議録

開催日時	令和3年4月20日（火） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 集会室	
出席者	委員	徳山順子教育長、竹井成範委員、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員
	事務局	村木美晴生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹、藤井夏樹主事
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 令和3年度の施策について (2) 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実に関する参考資料について (3) 早島町立幼稚園預かり保育条例施行規則の改正について (4) その他 3 連絡 4 閉会	
会議資料		
傍聴者	大森 茂	
会議録作成者	石原 知子	

### 会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：本日は、この3月で退任された大森委員さん、4月より委員となる市橋委員さんをお迎えして新旧のご挨拶をいただきたい。</p> <p>大森委員：3月の教育委員会では、所用により欠席をさせていただいたが、大変お世話になった。今後は、一町民として見守っていきたいと考えている。市橋委員さんの若い力に期待したい。大変お世話になり、よい勉強になった。これからも全員が力を合わせて本町の教育の発展のために尽力してほしい。</p> <p>市橋委員：微力ながら委員として尽力させていただきたい。よろしくお願ひしたい。</p> <p>教育長：職員のご自己紹介をしたい。（省略）</p>
---

続いて、教育委員さんより自己紹介をお願いしたい。(省略)

令和3年度の教育委員会について、事務局は学校教育であるが、生涯学習課と学校教育課が力を合わせて教育のまち・早島の実現に向けて努力していきたい。新たなメンバーでどうぞよろしくをお願いしたい。

## 2 議事・報告案件

### (1) 令和3年度の施策について

教育長 : 前回の教育委員会でも、概要についてお伝えしたが、知、徳・体、グローバルの3点について、県の施策と同様に「一人一人が輝く持続可能な教育」の推進を目指していく。学校での取り組みとして、ESD リーフレット、幼稚園の人権リーフレットにまとめているのでご覧いただきたい。県内すべての学校にリーフレットを発信している。今年度は、文科省の総合的な学習のモデル校として、研究を進めていく。

それでは、令和3年度の教育施策の概要をご覧いただきたい。小学校、中学校の児童生徒数は、昨年度より各20名近く増加している。教員の配置としては、小学校の養護助教諭の配置があり、2名体制となったし、大規模加配もいただいた。岡山県全体として、教員の数が不足していることが大きな課題である。

今年度の目標として、学校教育ビジョンの更なる推進、ICT活用等による学力向上に向けた授業改善、ESDとキャリア教育の推進、不登校児童生徒の減少など、4つの主たる目標を掲げている。昨年度は、全国学力・学習状況調査が中止となったが、今年度は5月27日に実施予定である。本町としては、全国平均より5ポイントプラスを目標として授業改善を行ってきたが、前学年の復習の徹底も図りながら、今後も学習内容の定着を図っていきたい。

生涯学習課では、6つの重点施策をについて取り組んでいく。行事予定についても、コロナ禍での変更を余儀なくされている。すでに春のソフトボール大会は、中止となり、秋のみの実施予定である。5月2日の成人式については行う予定であったが、現段階のコロナ禍の状況では、実行委員と検討していく必要がある。今年度の施策について意見があればお願いしたい。

綾野委員 : 不登校対策については、学校に行かなければならないという思いが自分には強かったが、考えを改めないといけないと感じている。

教育長 : いつもそのように説明させていただいているが、学校に行けないことが悪いことではなく、心が疲れたときはエネルギーをためていく時間も必要だ。将来的に引きこもりにならないように、居場所づくりをすることが大切にしたい。

綾野委員 : 子どもたちを支える大人が意識や接し方を変えることが必要だと思った。

竹井委員 : 城山(放課後留守家庭児童)には、特別支援学級はあるのか。

教育長 : 城山には支援学級はない。通常の学級の児童も支援学級の児童も同じように通

っている。

栗坂委員：読書活動については、保護者への啓発も大切だと感じている。保護者の意識が高い家庭は、幼いころから家庭教育が充実していると思う。小学校になってからも読書の習慣をつけることができるよう学校からの課題の出し方についても工夫が必要である。

竹井委員：大人の活字離れも進んでおり、本を読みたくなるような動機付けがいないのではなか。新着図書の紹介など魅力ある、目を引くアピールもした方がよい。

教育長：早島町立図書館では学校図書館と連携して、読書活動に大変力を入れているので、様々な工夫をしながら、学校・地域と連携した広報に取り組んでいきたい。

市橋委員：子どもは、比較的本を読んでいる。小学校では、読んだ本の冊数を記録した紙をもらって来ており、本を読む動機付けになっている。幼いころに読んだ本の数が今後の読書経験につながると聞いたことがある。保護者への読み聞かせの啓発は大切だと思う。

教育長：保護者には、子育てで悩まれている方もおられる。困り感に応え、子育てポイントを伝えることは大切であり、専門性のある知識を伝える場があればよい。近年、不読率が高くなっており、本を読む子と読まない子の差が大きくなっている。小学生が幼稚園児に読み聞かせをしたり、先生が帰りの会で児童生徒に読み聞かせをするなどして、読書をするきっかけになることに取り組んでいきたい。

市橋委員：教員の数が足りないという話であったが、町で何とかすることができるのか。

教育長：教員免許を持っている方がいないという厳しい現状がある。県からの配置も難しく、特に小学校では明らかに教員不足である。支援員など町費で雇用しているが、教員については、町費として予算をとっていても、人がいない状況である。教師という仕事に魅力を感じない人が多くなってきており、働き方改革を推進して、ワーク・ライフ・バランスのある生活ができるようにしていくことが大切だ。それでは、施策については、これでよいか。

全委員：了承した。

## (2) 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実に関する参考資料について

教育長：文科省から示されている資料である。小学校高学年の教科担任制についてはぜひとも進めていきたい。今後の喫緊の課題である。

栗坂委員：小学校は、1日6時間の教科を一人で担当しているので、教材研究が大変負担になる。

教育長：小学校高学年において教科担任制は大変魅力的であり、教員からも保護者・児童からも大変好評である。「令和の日本型学校教育の充実」ということで、今後の動向について知っておいていただきたい。

教育長 : 参考資料についてはよいか。

全委員 : 了承した。

(3) 早島町立幼稚園預かり保育条例施行規則の改正について

水玉課長 : 本年度より、保育・幼稚園事務については一本化し、健康福祉課に業務が移行している。それを踏まえたうえで規則改正について意見をいただきたい。

藤井主事 : 預かり保育条例について新旧対照表をご覧いただきたい。預かり保育の料金について、500円×回数分となっていたが、無償化に伴い、利用回数×50円が口座からの引き落としとなる。

竹井委員 : 生活保護の家庭はどうなっているのか。生活保護だから納付書を渡さないということになれば違和感があるのではないか。

猪木課長補佐 : 口座からの引き落としなので、生活保護家庭だけ納付書を渡さないということにはならない。

綾野委員 : すべての業務が健康福祉課に移行するのか。

猪木課長補佐 : 幼稚園の教員採用、教員研修、施設については、学校教育課で行う。

教育長 : 条例施行規則の改正についてはよいか。

全委員 : 了承した。

(4) その他

教育長 : 全国・県学力・学習状況調査について、今年度は、5月27日に行われる。前学年の定着状況を図る把握するために、全児童生徒の「できた」「わかった」の実現に向けて取り組んでいきたい。

令和3年度の教育委員会の予定についてご確認をいただきたい。

3 連絡 (4月、5月の行事予定について確認)

教育長 : その他気づいたことがあればお願いしたい。

竹井委員 : 学校の授業参観をした後は、学校からも意見を聴きたい。直接要望も聞きたいのでその場に居ていただくことは可能か。

教育長 : 今までは、学校も忙しいので、あとで管理職に出た意見等を伝えていたが、今年度は、幼稚園・小学校・中学校の授業参観後は、校長・副校長等に参加してもらい、一緒に話を聞くようにしたい。

4 閉会

教育長 : 次回の5月教育委員会は、5月27日である。本日も熱心にご協議いただき感謝する。何かあればいつでもご連絡をいただきたい。

